

令和5事業年度

財 務 諸 表

第 13 期

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園

独立監査人の監査報告書

令和6年6月19日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

理 事 会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

沖 縄 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

田島昇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

藤本庸介

監査意見

当監査法人は、沖縄科学技術大学院大学学園法（以下、「学園法」という。）第12条第2項の規定に基づく監査報告を行うため、平成23年11月1日付け内閣府通知第525号に基づき、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の財務諸表、すなわち貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類、業務実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園の令和6年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び業務実施コストの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記が付されている場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、沖縄科学技術大学院大学学園の会計の基準（平成23年内閣府令第59号第6条）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

目 次

貸 借 対 照 表 ……	1
損 益 計 算 書 ……	2
キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書 ……	3
利 益 の 処 分 に 関 す る 書 類 ……	4
業 務 実 施 コ ス ト 計 算 書 ……	5
注 記 事 項 ……	6
附 属 明 細 書 ……	9
1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細並びに減損損失の明細	
2 たな卸資産の明細	
3 無償使用国有財産等の明細	
4 PFIの明細	
5 退職給付引当金の明細	
6 拠出金及び拠出剰余金の明細	
7 積立金の明細	
8 業務費及び一般管理費の明細	
9 運営費補助金等の明細	
10-1 施設整備費補助金等の明細	
10-2 補助金等の明細	
11 役員及び教職員の給与の明細	
12 開示すべきセグメント情報	
13 寄附金の明細	
14 受託研究の明細	
15 共同研究の明細	
16 受託事業等の明細	
17 主な資産、負債、費用及び収益の明細	
18 関連公益法人等に関する明細	

貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
I	固定資産		
1	有形固定資産		
	土地		1,659,667,000
	建物	72,660,644,871	
	減価償却累計額	<u>-23,879,865,633</u>	48,780,779,238
	構築物	10,127,016,909	
	減価償却累計額	<u>-3,404,898,971</u>	6,722,117,938
	機械及び装置	229,792,783	
	減価償却累計額	<u>-219,326,406</u>	10,466,377
	工具、器具及び備品	32,978,089,438	
	減価償却累計額	<u>-26,656,453,062</u>	6,321,636,376
	図書		13,932,232
	車両運搬具	25,813,443	
	減価償却累計額	<u>-25,813,427</u>	16
	リース資産	1,240,287,996	
	減価償却累計額	<u>-1,240,287,996</u>	0
	建設仮勘定		853,251,199
	有形固定資産合計		<u>64,361,850,376</u>
2	無形固定資産		
	特許権		116,542,105
	商標権		208,077
	ソフトウェア		68,361,432
	工業所有権仮勘定		102,896,771
	その他無形固定資産		<u>12,933,297</u>
	無形固定資産合計		300,941,682
3	投資その他の資産		
	長期性預金		150,000,000
	敷金保証金		775,000
	長期前払費用		13,518
	リース投資資産		<u>4,732,438,961</u>
	投資その他の資産合計		4,883,227,479
	固定資産合計		<u>69,546,019,537</u>
II	流動資産		
	現金及び預金		6,327,784,292
	未収入金		416,232,067
	たな卸資産		40,647,100
	前渡金		233,667
	前払費用		88,454,347
	短期貸付金		105,000
	立替金		62,544
	リース投資資産		<u>164,029,274</u>
	流動資産合計		<u>7,037,548,291</u>
	資産合計		<u>76,583,567,828</u>
負債の部			
I	固定負債		
	資産見返補助金等		12,377,432,212
	資産見返寄附金		125,173,828
	資産見返物品受贈額		3,826,986
	退職給付引当金		132,710,600
	長期未払金		4,759,939,957
	その他固定負債		<u>3,919,649,691</u>
	固定負債合計		21,318,733,274
II	流動負債		
	前受金		296,475,976
	授業料債務		10,340,000
	預り補助金等		
	預り運営費	284,096,951	
	預り施設整備費	<u>620,615,019</u>	904,711,970
	預り寄附金		70,376,372
	預り科学研究費補助金等		179,340,513
	預り金		283,900,968
	未払金		3,177,871,748
	未払費用		87,060,261
	その他流動負債		<u>108,879,156</u>
	流動負債合計		<u>5,118,956,964</u>
	負債合計		<u>26,437,690,238</u>
純資産の部			
I	拠出金		
	拠出金		<u>24,317,681,264</u>
	拠出金合計		24,317,681,264
II	拠出剰余金		
	拠出剰余金		44,762,935,982
	損益外減価償却累計額(-)		<u>-23,144,959,498</u>
	拠出剰余金合計		21,617,976,484
III	利益剰余金		
	任意積立金		
	別途積立金		180,532,854
	当期末処分利益		4,029,686,988
	(うち当期総利益)		<u>688,388,994</u>
	利益剰余金合計		<u>4,210,219,842</u>
	純資産合計		<u>50,145,877,590</u>
	負債純資産合計		<u>76,583,567,828</u>

損 益 計 算 書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位:円)

経常収益			
授業料収益		126,865,000	
運営費補助金等収益		16,930,651,986	
施設費収益		274,021,000	
受託研究等収入(国又は地方公共団体)		153,777,443	
受託研究等収入(国又は地方公共団体以外)		1,225,187,135	
共同研究収入		105,493,064	
寄附金収益		38,747,449	
補助金等収益		87,750,801	
宿舍料等収入		9,598,604	
土地建物賃貸料収入		17,165,272	
資産見返補助金等戻入		2,654,427,640	
資産見返寄附金戻入		59,686,275	
財務収益			
受取利息	100,216,685	100,216,685	
雑益		386,456,635	
経常収益合計		386,456,635	22,170,044,989
経常費用			
業務費			
人件費	7,533,535,756		
経費			
研究資材費	1,087,249,293		
備品費及び消耗品費	542,356,277		
水道光熱費	1,511,453,425		
旅費交通費	729,813,109		
通信運搬費	67,054,950		
賃借料	547,371,548		
業務委託費	822,504,939		
修繕費	469,070,771		
保守管理費	2,109,537,567		
図書費	259,867,694		
減価償却費	3,140,857,788		
その他の業務経費	172,327,271	11,459,464,632	18,993,000,388
一般管理費			
人件費	1,302,049,066		
経費			
備品費及び消耗品費	55,094,885		
旅費交通費	140,271,259		
通信運搬費	52,419,433		
賃借料	59,249,365		
業務委託費	335,780,007		
役務費	67,103,422		
広告費	14,003,688		
減価償却費	47,703,990		
その他の管理経費	310,964,811	1,082,590,860	2,384,639,926
財務費用			
支払利息	107,541,366		
為替差損	3,605,013	111,146,379	
経常費用合計		21,488,786,693	
経常利益			681,258,296
臨時利益			
資産見返補助金等戻入		120	
資産見返寄附金戻入		4,788,875	
資産見返物品受贈額戻入		1	
固定資産売却益		7,868,271	
臨時利益合計		12,657,267	
臨時損失			
固定資産除却損		5,526,569	
臨時損失合計		5,526,569	
当期純利益		688,388,994	
当期総利益		688,388,994	

キャッシュ・フロー計算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位:円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	授業料収入	137,205,000
	運営費補助金等収入	19,811,033,964
	受託研究等収入	1,326,864,658
	寄附金収入	34,282,004
	補助金等収入	215,257,360
	宿舍料等収入	9,683,295
	その他業務収入	937,575,359
	預り科学研究費補助金等の受払	25,120,798
	人件費支出	-8,846,511,136
	たな卸資産取得による支出	-11,479,242
	その他業務支出	-8,941,504,146
	業務活動によるキャッシュ・フロー	4,697,527,914
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	-2,988,637,498
	有形固定資産の売却による収入	7,868,271
	無形固定資産の取得による支出	-56,370,310
	施設整備補助金等による収入	242,527,916
	その他	-162,463,381
	小計	-2,957,075,002
	利息及び配当金の受取額	6,279
	投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,957,068,723
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	ファイナンス・リース債務の返済による支出	0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金に係る換算差額	-3,605,013
V	資金増加額	1,736,854,178
VI	資金期首残高	4,590,930,114
VII	資金期末残高	6,327,784,292

利益の処分に関する書類

(令和6年3月31日)

(単位:円)

I 当期末処分利益	
当期総利益	688,388,994
前期繰越利益	3,441,297,994
II 利益処分額	
別途積立金	100,000,000
II 次期繰越利益	<u>4,029,686,988</u>

注) 令和6年5月に開催された第44回理事会において、令和6年度に次期繰越利益のうち5千万円を宿舎大規模修繕のための修繕積立金(別途積立金)として利益処分することを決議しております。

業務実施コスト計算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用

(1) 損益計算書上の費用

業務費	18,993,000,388	
一般管理費	2,384,639,926	
財務費用	111,146,379	
臨時損失	5,526,569	21,494,313,262

(2) (控除) 自己収入等

授業料収益	△ 126,865,000	
受託研究収入	△ 1,378,964,578	
共同研究収入	△ 105,493,064	
寄附金収益	△ 38,747,449	
宿舍料等収入	△ 9,598,604	
土地建物賃借料収入	△ 17,165,272	
資産見返寄附金戻入	△ 59,686,275	
財務収益	△ 100,216,685	
雑益	△ 277,036,078	△ 2,113,773,005

業務費用合計	19,380,540,257	
--------	----------------	--

II 損益外減価償却相当額	2,761,075,283
---------------	---------------

III 引当外退職給付増加見積額	618,600
------------------	---------

IV 機会費用

国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	159,330,344	
政府拠出等の機会費用	346,810,628	506,140,972

V 業務実施コスト	22,648,375,112
-----------	----------------

注記事項

I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法に基づく低価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産(沖縄科学技術大学院大学学園会計基準 第40)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として、拠出剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

役員及び教職員の退職給付に備えるため、当該事業年度における期末要支給額を計上しております。

4. 業務実施コスト計算書における機会費用等の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算

恩納村分屯基地・農地単価を基に計算しております。

(2) 政府拠出金等に係る機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和6年3月末利回りを参考に0.725%で計算しております。

5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

ただし、ファイナンス・リース取引のうちリース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 収益及び費用の計上基準

(1) ファイナンス・リース取引(貸主側)に係る収益の計上基準

売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっております。

(2) 教育研究等のサービスの提供に係る収益

本学が提供する教育研究等のサービスに係る収益として、授業料収益、受託研究等収入、共同研究収入があります。

授業料収益については、当事業年度の授業料として受領した対価を収益として認識しております。受託研究等収入及び共同研究収入については、複数年度契約の場合は、契約の最終年度以外では当該研究等のための費用化額を限度として収益を認識し、契約の最終年度では契約上の対価のうち未収益化額を収益として認識しております。

8. 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

II. 会計方針の変更

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することいたしました。

なお、収益認識会計基準の適用に伴う財務諸表に与える影響はありません。

III. 追加情報

1. ビレッジゾーン宿舎の取引概要及び会計処理

当学園は、平成23年9月30日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結致しました。事業者は、当該契約に基づき、当学園の保有する敷地内に教職員及び学生のための宿舎を建設し、完工後当学園に宿舎を譲渡いたします。宿舎の建設は、フェーズ1(第1期～第3-2期)に渡り、平成27年度においては第3-2期分が完成し、当学園に引き渡しが行われております。フェーズ2として当学園は、令和元年6月11日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和2年度にヒルサイド及びサウスヒルA・B・Cの宿舎の完成及び引渡が行われております。当学園は、宿舎の完成に際し、事業者より、長期割賦購入で譲り受けると同時に、事業者と定期建物賃貸借契約を締結し宿舎を賃貸しております。宿舎の賃貸に係るリース料と宿舎の譲受に係る長期割賦購入額は同額となっており、且つ支払スケジュール及び利息を含む各年度の支払額も同額で設定されているため、各年度の支払額は相殺されお互いの支払は発生しません。そして、定期建物賃貸借契約において、事業者は原則として中途解約が出来ない旨、及びリース期間満了後は宿舎を当学園に返還する旨を定めており、当学園は、事業者への賃貸取引について、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理を実施しております。尚、所有権移転外ファイナンスリース(貸主側)による会計処理の実施に際しては、売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法によっており、譲り受けた宿舎をリース投資資産に計上しております。当学園は、フェーズ3として令和元年3月29日付けで、OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III株式会社(以下、事業者)と宿舎整備事業に関する契約を締結し、令和3年度にThe Gardens宿舎の引渡が行われています。当学園は、宿舎の完成に伴い、事業者より宿舎を譲り受けると同時に、当該宿舎に運営権を設定し事業者に譲渡しております。建物の取得対価と運営権の譲渡対価は同額であり、支払い額は相殺されお互いの支払いは発生しません。譲り受けた宿舎は建物に計上し、譲渡した運営権の対価はその他固定負債に計上しております。建物およびその他固定負債は、契約期間にわたり、減価償却費の計上、その他雑益への振替を行っております。

IV. 貸借対照表関係

1. 預り補助金等の内訳

(1) 預り運営費

学園取得の建設仮勘定見返運営費補助金等残高	181,200,180 円
学園取得の工業所有権仮勘定見返運営費補助金等残高	102,896,771 円
期末残高	284,096,951 円

(2) 預り施設整備費

学園取得の建設仮勘定見返施設費残高	620,615,019 円
期末残高	620,615,019 円

V. キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	6,327,784,292 円
資金期末残高	6,327,784,292 円

(2) 重要な非資金取引の内容

当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース資産の額	0 円
当期新たに計上したファイナンス・リース(借手側)に係るリース債務の額	0 円

VI. 業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額には、国等からの出向職員に係るものが、618,600円含まれております。

VII.ファイナンス・リース取引に関する注記

1. 借手側

(1) リース資産の内容

業務車両(OISTバス)及び研究機器(X線光電子分光分析装置等)

(2) リース資産の減価償却の方法

<所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

<所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産>

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

2. 貸手側

(1) リース投資資産の内訳

①投資その他の資産

リース料債権部分	5,864,651,494 円
受取利息相当額	△ 1,132,212,533 円
リース投資資産	4,732,438,961 円

②流動資産

リース料債権部分	260,890,329 円
受取利息相当額	△ 96,861,055 円
リース投資資産	164,029,274 円

(2) リース投資資産に係るリース料債権部分の決算日後の回収予定額

①投資その他の資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	-	261,117,145	261,349,249	261,586,776	261,829,858	4,818,768,466

②流動資産

(単位:円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース料債権部分	260,890,329	-	-	-	-	-

VIII.重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第40特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細並びに減損損失の明細

(単位:千円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引 当期末残高	摘要	
					当期償却額	当期償却額	当期損益内	当期損益外			
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	14,741,736	402,700	-	15,144,436	4,082,562	641,890	-	-	11,061,874	
	構築物	483,089	5,244	-	488,334	274,389	19,315	-	-	213,944	
	機械装置	188,502	517	2,307	186,711	183,486	1,007	-	-	3,225	
	工具器具備品	29,458,388	3,629,109	412,208	32,675,288	26,475,825	2,468,273	-	-	6,199,463	
	図書	11,750	2,183	2	13,932	-	-	-	-	13,932	
	車両運搬具	25,813	-	-	25,813	25,813	-	-	-	0	
	リース資産	1,240,287	-	-	1,240,287	1,240,287	-	-	-	-	
	計	46,149,569	4,039,754	414,518	49,774,805	32,282,365	3,130,485	-	-	17,492,439	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物	57,516,208	-	-	57,516,208	19,797,303	2,400,030	-	-	37,718,904	
	構築物	9,638,682	-	-	9,638,682	3,130,509	324,723	-	-	6,508,173	
	機械装置	43,080	-	-	43,080	35,839	2,886	-	-	7,241	
	工具器具備品	302,800	-	-	302,800	180,627	33,380	-	-	122,172	
	計	67,500,771	-	-	67,500,771	23,144,279	2,761,020	-	-	44,356,492	
非償却資産	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667	
	建設仮勘定	932,999	831,165	910,914	853,251	-	-	-	-	853,251	
	計	2,592,666	831,165	910,914	2,512,918	-	-	-	-	2,512,918	
有形固定資産合計	土地	1,659,667	-	-	1,659,667	-	-	-	-	1,659,667	
	建物	72,257,944	402,700	-	72,660,644	23,879,865	3,041,920	-	-	48,780,779	
	構築物	10,121,772	5,244	-	10,127,016	3,404,898	344,039	-	-	6,722,117	
	機械装置	231,583	517	2,307	229,792	219,326	3,893	-	-	10,466	
	工具器具備品	29,761,188	3,629,109	412,208	32,978,089	26,656,453	2,501,653	-	-	6,321,636	
	図書	11,750	2,183	2	13,932	-	-	-	-	13,932	
	車両運搬具	25,813	-	-	25,813	25,813	-	-	-	0	
	リース資産	1,240,287	-	-	1,240,287	1,240,287	-	-	-	-	
	建設仮勘定	932,999	831,165	910,914	853,251	-	-	-	-	853,251	
計	116,243,008	4,870,920	1,325,432	119,788,495	55,426,645	5,891,506	-	-	64,361,850		
無形固定資産 (償却費損益内)	特許権	227,692	11,648	592	238,748	122,206	29,241	-	-	116,542	
	商標権	1,451	-	-	1,451	1,243	33	-	-	208	
	ソフトウェア	1,176,431	39,047	1,923	1,213,555	1,145,193	24,032	-	-	68,361	
	その他無形固定資産	64,081	-	-	64,081	51,179	4,768	-	-	12,902	
	計	1,469,657	50,695	2,515	1,517,837	1,319,823	58,075	-	-	198,013	
無形固定資産 (償却費損益外)	その他無形固定資産	711	-	-	711	679	54	-	-	31	
非償却資産	工業所有権仮勘定	87,143	38,741	22,988	102,896	-	-	-	-	102,896	
無形固定資産合計	特許権	227,692	11,648	592	238,748	122,206	29,241	-	-	116,542	
	商標権	1,451	-	-	1,451	1,243	33	-	-	208	
	ソフトウェア	1,176,431	39,047	1,923	1,213,555	1,145,193	24,032	-	-	68,361	
	工業所有権仮勘定	87,143	38,741	22,988	102,896	-	-	-	-	102,896	
	その他無形固定資産	64,792	-	-	64,792	51,859	4,823	-	-	12,933	
	計	1,557,511	89,437	25,504	1,621,445	1,320,503	58,130	-	-	300,941	
投資その他の資産	長期性預金	100,000	50,000	-	150,000	-	-	-	-	150,000	
	投資有価証券	5	-	5	-	-	-	-	-	-	
	敷金保証金	775	-	-	775	-	-	-	-	775	
	長期前払費用	3,211	-	3,198	13	-	-	-	-	13	
	リース投資資産	4,896,468	-	164,029	4,732,438	-	-	-	-	4,732,438	
	計	5,000,460	50,000	167,232	4,883,227	-	-	-	-	4,883,227	

注) 1. 建物の当期増加額の内訳 第5研究棟関連 265,362千円、第4研究棟 25,121千円

2. 構築物の当期増加額の内訳 駐車場外灯 2,901千円

3. 工具器具備品の当期増加額の内訳 低温周速イオンビーム走査型電子顕微鏡 203,500千円、超高速核酸塩基配列決定システム 186,792千円

4. 建設仮勘定の当期増加額の内訳 水槽システム3台 277,023千円、LAB5ゲージ自動洗浄システム 412,500千円、第5研究棟関連 52,627千円

2. たな卸資産の明細

(単位:千円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
研究資材	42,044	6,469	-	12,590	-	35,923	
その他	3,894	5,010	-	4,181	-	4,724	
計	45,939	11,479	-	16,771	-	40,647	

3. 無償使用国有財産等の明細

区分	種別	所在地	面積(m ²)	構造	機会費用の金額(千円)	摘要
土地	メインキャンパス	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地	624,751.77	-	157,437	
土地	瀬良垣臨海研究施設	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣瀬良垣原656番地	7,511.50	-	1,892	
	合計		632,263.27	-	159,330	

4. PFIの明細

事業名	事業概要	施設所有形態	契約先	契約期間	摘要
沖縄科学技術大学院大学 宿舎整備事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE 株式会社	平成23年9月30日 ～ 令和27年3月31日	第1期:平成24年8月～平成25年1月の間に順次引渡 第2期:平成25年6月引渡 第3-1期:平成26年8月引渡 第3-2期:平成27年8月及び10月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第2期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE II 株式会社	令和元年6月11日 ～ 令和42年3月31日	ヒルサイド: 令和2年7月引渡 サウスヒルA: 令和2年7月引渡 サウスヒルB: 令和2年9月引渡 サウスヒルC: 令和2年9月引渡
沖縄科学技術大学院大学 宿舎第3期整備運営事業	宿舎整備(建設)・維持 管理及び運営	BTO	OKINAWA SCIENTISTS VILLAGE III 株式会社	令和元年3月29日 ～ 令和43年3月31日	The Gardens: 令和3年8月引渡

5. 退職給付引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	141,829	16,108	25,227	132,710	
退職一時金に係る債務	141,829	16,108	25,227	132,710	
未認識過去勤務債務	-	-	-	-	
未認識数理計算上の差異	-	-	-	-	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	141,829	16,108	25,227	132,710	

6. 抛出金及び抛出剰余金の明細

(単位:千円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
抛出金	政府抛出金	24,317,681	-	-	24,317,681	
	計	24,317,681	-	-	24,317,681	
抛出剰余金	抛出剰余金					
	施設費	44,762,935	-	-	44,762,935	
	計	44,762,935	-	-	44,762,935	
	損益外減価償却累計額	20,383,884	2,761,075	-	23,144,959	
	差引計	24,379,051	△ 2,761,075	-	21,617,976	

7. 積立金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
別途積立金	58,867	-	-	58,867	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた退職給付引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	21,665	-	-	21,665	前法人において独立行政法人会計基準上貸借対照表に計上しない扱いとなっていた賞与引当金について、学園第1期の貸借対照表期首に要積立額を負債として計上し、当該引当額を学園第1期の学園補助金で措置することにより、要積立額分を収益化したことによるもの。
別途積立金	-	100,000	-	100,000	宿舎大規模修繕のための修繕積立金。
計	80,532	100,000	-	180,532	

8. 業務費及び一般管理費の明細

(単位:千円)

科目	金額	摘要
業務費		
基本給	6,272,745	
諸手当	337,054	
通勤手当	58,085	
超過勤務手当	52,385	
その他給与	52,405	
退職給付費用	8,087	
法定福利費	752,771	
研究資材費	1,087,249	
備品費	282,986	
消耗品費	259,369	
水道光熱費	1,511,453	
国内旅費	118,036	
外国旅費	338,004	
国内招聘旅費	111,904	
外国招聘旅費	151,002	
国内その他旅費	2,416	
外国その他旅費	8,448	
通信運搬費	67,054	
支払リース料	72,875	
土地建物賃借料	427,316	
その他賃借料	47,179	
福利厚生費	77	
行事費	26,964	
支払手数料	5,892	
諸会費	44,831	
会議費	5,690	
研修費	6,123	
報酬	55	
諸謝金	23,287	
業務委託費	822,504	
修繕費	469,070	
保守管理費	2,109,537	
損害保険料	22,431	
広告費	8,444	
建物減価償却費	637,519	
構築物減価償却費	19,268	
機械装置減価償却費	1,007	
工具器具備品減価償却費	2,455,962	
無形固定資産減価償却費	27,099	
図書費	259,867	
租税公課	4,044	
輸入消費税	7,089	
その他の経費	17,394	
計	18,993,000	
一般管理費		
役員報酬	104,962	
役員通勤手当	174	
基本給	935,978	
諸手当	56,784	
通勤手当	16,467	
超過勤務手当	20,046	
その他給与	2,497	
退職給付費用	8,226	
法定福利費	156,911	
研究資材費	10,596	
備品費	3,269	
消耗品費	51,825	
水道光熱費	8,915	
国内旅費	36,780	
外国旅費	22,231	
国内招聘旅費	16,028	
外国招聘旅費	33,484	
国内その他旅費	15,354	
外国その他旅費	16,390	
通信運搬費	52,419	
支払リース料	4,528	
土地建物賃借料	39,394	
その他賃借料	15,325	
福利厚生費	10,757	
行事費	1,712	
支払手数料	38,998	
諸会費	7,329	
会議費	4,410	
研修費	12,429	
報酬	41,214	
諸謝金	25,889	
業務委託費	335,780	
修繕費	2,131	
保守管理費	29,847	
損害保険料	34,613	
広告費	14,003	
特許経費	20,034	
建物減価償却費	4,370	
構築物減価償却費	47	
工具器具備品減価償却費	12,310	
無形固定資産減価償却費	30,976	
図書費	2,003	
租税公課	94,892	
輸入消費税	201	
その他の経費	32,088	
計	2,384,639	

9. 運営費補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	当期振替額				摘要
		建設仮勘定見返補助金等	工業所有権仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	収益計上	
沖縄科学技術大学院大学 学園補助金	19,809,133	72,643	35,285	2,781,343	16,919,861	
合計	19,809,133	72,643	35,285	2,781,343	16,919,861	

注) 損益計算書の運営費補助金等収益には過年度取得仮勘定からその他の経費へ振替えた10,790千円が含まれております。

10-1. 施設整備費補助金の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返施設費	拋出剰余金	預り施設費	その他	
令和4年12月14日付府沖振第276号 第2データセンター施設整備	25,586	25,586	-	-	-	
令和5年4月1日付府沖振第68号 基幹環境整備	360,677	91,386	-	-	269,291	
地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業	89,480	89,480	-	-	-	
計	475,744	206,453	-	-	269,291	

10-2. 補助金等の明細

(単位:千円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		資産見返 補助金等	長期預り 補助金等	収益計上	その他	
沖縄科学技術大学院大学 SDGs 社会課題解決型起業促進事業補助金	20,741	-	-	20,741	-	
令和5年度沖縄型スタートアップ拠点化 推進事業費補助金	13,753	-	-	13,753	-	
令和4年度産学連携推進事業費補助金	41,096	41,096	-	-	-	
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療研究開発推進事業費補助金	26,125	-	-	26,125	-	
令和5年度二酸化炭素排出抑制対策 事業費等補助金	1,900	1,900	-	-	-	
特別高圧受電契約事業者支援事業補助金	138,274	-	-	27,131	111,143	その他は返還予定額
計	241,889	42,996	-	87,750	111,143	

11. 役員及び教職員の給与の明細

(単位:千円)

区 分	報酬又は給与		退職給付	
	支給額	支給人員(人)	支給額	支給人員(人)
役 員	(6,800) 98,336	(2) 3	(-) 18,832	(-) 1
教 職 員	(58,224) 7,746,226	(36) 1,202	(-) 6,394	(-) 1
合 計	(65,024) 7,844,563	(38) 1,205	(-) 25,227	(-) 2

注) 1. 役員(含む非常勤役員)報酬及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

2. 教職員給与及び退職手当の支給基準の概要

沖縄科学技術大学院大学学園「基本方針・ルール・手続き」第34章 給与・報酬 及び 第35章 ベネフィット 等に基づき支給しております。

3. 報酬又は給与における支給人員数は、年間平均支給人員を記載しております。

4. 損益計算書の人件費の中には、上記給与の他に法定福利費909,683千円が含まれております。

5. ()は、非常勤の役職員に対するもので、外教であります。

6. 上記の支給額には、賞与引当金及び退職給付引当金に係る繰入額は含まれておりません。

12. 開示すべきセグメント情報

(単位:千円)

区分	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
業務収益						
授業料収益	-	-	126,865	126,865	-	126,865
運営費補助金等収益	7,577,374	4,958,736	1,719,555	14,255,667	2,674,984	16,930,651
施設費収益	-	-	-	-	274,021	274,021
受託研究費等収入	1,218,906	209,892	946	1,429,745	54,711	1,484,457
寄附金収益	14,183	3,790	1,623	19,597	19,150	38,747
補助金等収益	-	39,878	-	39,878	47,872	87,750
資産見返補助金等戻入	1,185,750	1,423,076	2,235	2,611,062	43,365	2,654,427
資産見返寄附金戻入	56,720	2,820	-	59,540	145	59,686
その他収入	3,403	157,130	2,876	163,411	249,808	413,220
財務収益	-	100,210	-	100,210	6	100,216
小計	10,056,339	6,895,536	1,854,102	18,805,979	3,364,065	22,170,044
業務費用	9,491,003	7,336,649	1,733,634	18,561,286	2,927,499	21,488,786
業務損益	565,336	△441,112	120,468	244,692	436,565	681,258
資産	2,823,705	66,585,283	14,295	69,423,284	7,160,283	76,583,567

(セグメント情報の注記事項)

(1) セグメントの区分方法及び各業務の内容

各業務の内容

研究ユニット	神経科学、分子科学、数学・計算科学の研究開発の推進、研究者養成活動等
研究サービス	研究ユニットの支援業務、研究成果の普及等
教育関連	学生の受入・教育に係る業務等

(2) 業務費用のうち、全学園の項目に含めた配賦不能費用は、主に管理部門に係る下記費用であります。

人件費	1,302,049	千円
その他経費	728,434	千円
業務委託費	364,663	千円

(3) 資産のうち、全学園の項目に含めた資産は、主に下記の通りであります。

現金及び預金	6,327,784	千円
未収入金	377,697	千円

(4) 損益外減価償却相当額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は下記の通りであります。

(単位:千円)

	研究ユニット	研究サービス	教育関連	計	全学園	合計
損益外減価償却相当額	-	2,761,075	-	2,761,075	-	2,761,075
引当外退職給付増加見積額	-	-	-	-	618	618

13. 寄附金の明細

区分	当期受入(千円)	件数(件)	摘要
研究ユニット	5,776	282	現物寄附 280件:5,702千円
研究サービス	2,250	4	現物寄附 0件: 0千円
教育関連	1,288	32	現物寄附 29件: 986千円
全学園	29,238	645	現物寄附 601件: 2,947千円
合計	38,553	963	

14. 受託研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	406,947	836,564	1,115,805	127,707
研究サービス	3,026	84,580	82,773	4,832
教育関連	-	946	946	-
全学園	1,398	66,575	54,711	13,261
合計	411,372	988,667	1,254,237	145,802

15. 共同研究の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
研究ユニット	118,076	125,435	103,101	140,410
研究サービス	1,391	1,000	2,391	-
合計	119,467	126,435	105,493	140,410

16. 受託事業等の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期受入額	受託事業等収益	期末残高
研究サービス	-	124,726	124,726	-
合計	-	124,726	124,726	-

17. 主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:千円)

内訳	金額
現金	325
普通預金	6,327,458
現金及び預金計	6,327,784
長期性預金	150,000

注) 1. 長期性預金は、宿舎大規模修繕のための修繕積立資金です。

(2) 科学研究費補助金等の明細

(単位:千円)

種目	当期受入額	件数	摘要
基盤研究(A)	(14,300) 4,200	(7) 6	
基盤研究(B)	(115,875) 33,060	(39) 33	
基盤研究(C)	(40,240) 12,072	(39) 38	
基盤研究(S)	(2,600) 780	(1) 1	
挑戦的研究(開拓・萌芽)	(18,400) 5,520	(8) 7	
若手研究	(52,980) 15,150	(38) 37	
特別研究員奨励費	(43,142) 3,930	(49) 10	
研究活動スタート支援	(9,900) 2,970	(9) 9	
国際共同研究加速基金(帰国発展)	(17,000) 5,100	(2) 2	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	(-) 3,510	(-) 1	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	(1,000) 300	(1) 1	
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	(700) 210	(1) 1	
新学術領域研究(研究領域提案型)	(2,183) 655	(3) 3	
学術変革領域研究(A)	(90,840) 27,252	(12) 12	
学術変革領域研究(B)	(3,000) 900	(1) 1	
日本学術振興会調査研究費	(608) -	(4) -	
旭硝子財団研究助成金	(3,000) -	(1) 1	
岩谷科学技術研究助成	(2,002) -	(2) 2	
日本しろあり対策協会研究助成	(700) -	(1) 1	
稲盛財団研究助成金	(1,000) -	(1) 1	
中辻創智社研究助成金	(1,000) -	(1) 1	
合計	(420,472) 115,609	(220) 168	

注) 1. 当期受入額は、科学研究費補助金等の間接経費相当額を記載しております。また()は、直接経費相当額で外数にて記載しております。

注) 2. 科学研究費補助金等の研究課題

基盤研究 (A)

- サンゴ礁で繁栄する褐虫藻共生システムの体系的理解:学際的研究体制によるアプローチ
- 個別化医療の適応的臨床研究を支える統計・機械学習法に関する研究
- 炭素循環におけるバイオミネラリゼーションの役割の解明
- 超巨大ブラックホールのスピン測定と磁場を介した回転エネルギー抽出機構の検証
- 超速1分子超解像法による、シグナル経路統合を担う液状ナノ共通シグナル基盤の解明
- 分散性のある大規模量子コンピュータアーキテクチャ

基盤研究 (B)

- 「心が変われば行動が変わる」確信がもたらす辛抱強さの神経機構
- 2D半導体における励起子の時間分解ARPES
- Adaptation of marine zooplankton to climate change conditions: a multi-omic study of molecular mechanisms
- DNA replication dynamics in living bacteria
- Genetic targeting of a synthetic dye for voltage imaging of cerebellar Purkinje neurons during a tongue grasping task
- Imaging trions and their dynamics in momentum space
- Role of Dynein Heavy Chain 3'UTR in the axonal localization and translation of its mRNA
- Thyroid hormones and Pigmentation pattern evolution in clownfish
- Transcriptional and epigenetic programs of phenotypic plasticity to heatwave in reef fish
- Visualization of degradation mechanisms and ions migration pathways in perovskite solar cells
- サンゴ共生微生物の代謝産物利用の技術開発に基づいた共生機構の解明
- スマートフォンの携帯通信網を活用したサンゴ一斉産卵の同時多点観測システムの構築
- 異常細胞のMHC-Iシグナルにより惹起される上皮細胞の免疫細胞様機能
- 解糖系とJmBによる自己免疫性T細胞のクロマチン制御機構の解明と応用
- 海洋環境下のサンゴ-褐虫藻共生系のゲノム基盤の解明
- 寄主シロアリとの共進化に伴う好白蟻性ハネカシの多様化
- 記憶エンGRAMによる動的情報表現の意義、一般性およびメカニズム
- 光誘起電荷分離効率化による高効率有機発光システムの実現
- 好奇心と記憶が織りなす新奇性追求行動の神経基盤とその可変性
- 高次元小標本データのための非線形選択的推論アルゴリズムの研究開発
- 細胞膜損傷を引き金とする細胞老化の分子基盤と生体内における意義の解明
- 刺胞動物の咽頭神経系の発生・生理・機能的解析で迫る集積神経系の進化的起源
- 自動行動トラッキングシステムを用いたアリ社会の繁殖分業制御機構の解明
- 将来の不確実性に頑健な保護区導入手法の構築およびその実装
- 前頭眼窩野と内側前頭前野の機能差におけるセロトニンを軸とした神経機構の解明
- 造礁サンゴ-褐虫藻共生の生物学的メカニズムのin vitro共生系を駆使した解明
- 大気中の人為起源二次有機エアロゾル濃度評価に利用可能な新規トレーサの提案
- 単細胞生物の複雑性:有孔虫サブシングルセル遺伝子発現と超微細構造解析で迫る
- 超対称ランダム行列理論とトポロジー不変量の研究
- 超流動ヘリウム上の電子スピンを利用した高忠実度量子論理ゲートの実現
- 日常生活動作の予測に基づく居宅介護ケアプランの最適化手法の確立
- 粘性解理論に基づくサブリーマン多様体上の非線形偏微分方程式の研究
- 比較神経科学でひも解くREM睡眠の共通原理
- 皮質における光景表現の形成 --- 面・物体・光景をつなぐ階層的中間表現
- 皮質における物体表現の形成 --- 中間層における混合同時選択性と集団符号化
- 分裂期紡錘体の形成・配置制御を司るダイニン複合体/クラスターの機能構造の解明
- 幼少期の社会的音声コミュニケーションが制御する高次機能発達の神経メカニズムの解明
- 粒子濃縮層への重力作用を利用した「粒子充填のしやすさ」計測法の実証とミニチュア化

基盤研究 (C)

- 3D microfluidics for extensional rheometry
- Accounting for evolutionary and socioeconomic impacts in modern fisheries science and management
- ADHDペアレントトレーニングと教師ビデオ教材の普及に向けた橋渡しパイロット研究
- Colloidal-rods for examining polymer dynamics in complex flows
- Development of Nano Gas Sensors Based on Single Atomically Precise Graphene Nanoribbons
- Drp1を介した小胞体・ミトコンドリアの接触場の形成機構とアポトーシス誘導の役割
- Elucidating the mechanism that measures mitotic duration to prevent proliferation of defective cells
- Fiber-integrated diamond-based whispering-gallery-mode magnetometers
- High-resolution spatiotemporal analysis of harmaline-induced tremor and inferior olive activity in living mice
- KLR algebras and wreath zigzag algebras (KLR 代数とリース ジグザグ代数)
- large benthic foraminifera as a model for eukaryote-eukaryote photosymbiosis
- Mathematical Modeling of Human Neurophysiological Responses as Feedbacks for Generating Naturalistic Robot Behaviour
- Modeling plant adaptation in the context of climate change using genomics and epigenomics of stress tolerant Mangrove trees
- Photoinduced C-H bond fluoroalkylation and aryl-heteroatom coupling catalyzed by naphthyridine complexes of earth-abundant metals
- Role of amygdala in fear and anxiety behaviors.
- Sorting and Imaging Micro- and Nano-Particle Pollutions in Aqueous Systems Using a Chiral Plasmonic Optical Tweezers
- The Mechanism of Endoplasmic Reticulum Proteostasis and Proteotoxicity in Retinal Degeneration
- Translational research: Incorporating experimental evidence on altered reward and punishment sensitivity into behavior management strategies for ADHD
- Using symmetry to enhance quantum batteries and heat engines
- Wnt/PCPシグナル経路が制御するマウス初期胚形態形成の分子機構の解析
- やんばるの森から放出される揮発性有機化合物が大気環境へ与える影響の機械学習的評価
- 回遊パタンの進化の過程を探る:初期生活史と内分泌系からのアプローチ
- 距離空間における非線形偏微分方程式の研究
- 巧緻運動(手指の細かい動き)における脳-脊髄神経回路の新規制御機構の解明
- 高磁場に特化した量子スピンソルバーによるネマティック状態の基礎物性の解明
- 次世代シーケンシングとX線マイクロモグラフィーに基づいたマダガスカル注目すべきアリの放射線(膜翅目:アリ科:テラタナー)の分類学的多様性と進化のダイナミクスの解明
- 自由に行動するマウスにおける3D運動分析と組み合わせた内在性カンナビノイド調節ニューロンネットワーク活動のinvivoイメージング
- 状態に依存する感覚処理のメカニズムの解明
- 真珠形成における遺伝子発現調節機構を1細胞レベルで解明する
- 神経伝達物質輸送速度に伴って変動するシナプス素量成立時間の多様性とその生理的意義
- 水晶体線維細胞分化を誘導するFGFR1の探索
- 精神障害の正確な診断を進めるための患者に合わせたシナプスプロテオミクス技術の開発。
- 脊椎動物はいつキチンを失い、粘液層定着型の腸内細菌との共生関係を成立させたか?
- 先端キャップタンパク質に依存する細菌ベームフック重合機構の解明
- 腸内細菌叢制御を目指したV型線毛付着機構の理解と抑制法開発
- 電気生理学および画像研究によって明らかになったシナプス小胞輸送
- 理論と実験による薄い懸垂フィルムのしわに対する境界曲率の影響の解明
- 老化および神経変性中のATP依存性液相分離
- アイドリング脳の作動原理

基盤研究 (S)

挑戦的研究(開拓・萌芽)

- Next generation XUV source for time-resolved nano-ARPES and PEEM
- Toward the development of a high-throughput reconstruction method of termite gut bacterial genomes
- 世界初の海藻類交雑育種株作成への挑戦: オキナワモズクをモデルとして
- 先端分光計測と精密合成を活用したグラフェンナノリボンの微細構造と機能の制御
- 腸内微生物の実験的置換によるシロアリ進化の追体験
- 超速超高感度・偏光顕微鏡の開発によるアクチン膜骨格動態と神経膜拡散障壁の解明

若手研究

- 琉球古布の正確で非侵襲な素材判定法の開発
- Adaptive RNA editing in Cephalopods
- Analysis of blow-up phenomena for nonlinear parabolic equations
- Colloidal-rods for examining polymer dynamics in complex flows
- De Novo Directed Evolution Approach to Study Complex Kinase Signaling
- Dispersive readout of the electrons on Helium Rydberg state with the Landau levels
- Enhancing the Site-directed RNA Editing Toolkit with Cryo-EM Structures of Native RNA Editing Complexes
- Evolutionary forces driving the diversity of protist symbioses
- Extending the scope of ancestral sequence reconstruction for protein engineering
- Health Policies, Human Capital Accumulation, and Intergenerational Mobility
- Hydrodynamic effect on the production and fate of coral mucus
- Impact of mitochondria dysfunction in motoneuron death in Amyotrophic lateral sclerosis: a new opportunity for biomarker and therapeutics discovery
- Interaction of non-Newtonian fluids with deformable structures in microscale biological processes
- Interaction-based markers of mental illnesses based on sensorimotor interaction patterns: towards the development of early, non-invasive, and specific measures of the risk for mental illness
- Irreducible representations of cyclotomic Hecke algebras
- Is active perception better than passive perception? Examining the role of action in perception through a systematic literature review and comprehensive behavioral experiments
- Microbubble resonator dispersion engineering for blue-band soliton comb generation
- Neural mechanisms underlying behavioral flexibility
- Numerical Study of Quantum Spin-Nematic Order in Frustrated Ferromagnets and its Relation to Quantum Spin Liquids
- Population genomics study of the cosmopolitan appendicularian *Oikopleura dioica* in northwest Pacific for uncovering population structure and genetic diversity
- Quasiconformal and Sobolev mappings on metric measure spaces
- Repeated evolution of ultra-fast mandibular attacks in termites
- Rydberg atoms interfaced with an optical nanofiber
- Statistics as a useful resource for work production: the Pauli engine
- Study of enzymes inside liquid-liquid phase separated crowded droplets
- The correlation and contribution of spatiotemporal firing pattern of inferior olive neurons to the cyclical movement
- The effects of leaf litter phytochemistry on the structure and functioning of microbial decomposer communities.
- The function of the NCM-HVC connection and its retraction in juvenile songbirds
- Unlocking the epigenetic potential of stress tolerance in rice

特別研究員奨励費

- アトラクターネットワークによる言語処理の神経メカニズムのモデル化
- 原子層半導体アンチモンを用いたデバイス開発のための基礎研究
- 昆虫の接触による群れ行動アルゴリズムの解明
- 最小細胞から細胞小器官への進化的移行
- 刺胞動物を用いた内分泌系の起源解明: PRXamide 神経ペプチドの祖先的機能は何か?
- 新規ウイルスベクターによる細胞分化誘導およびリプログラミング誘導の制御と特性解析
- 超高速3D超解像イメージング同時1分子追跡による神経シナプス分子集積機構の解明
- 疲労化CD8+ T細胞における転写因子JunBの役割の解明
- 翻訳速度変化を介した新生タンパク質の転座制御機構の解明
- 薬剤誘導性統合失調症モデル霊長類コモン・マーモセットの作出と病態解析
- 2次元遷移金属ダイカルコゲナイドのモアレヘテロ構造におけるトリオンの可視化
- BrainMaps - 新規モデル生物の脳地図のための統一ウェブプラットフォーム
- アリ化石の記録から見出す進化史上の絶滅パターン
- アリ脚の進化と機能形態に関する研究
- アリ類の生態・行動・社会組織に関連した消化器系の進化
- イネにおけるストレス応答のエピジェネティック制御の解明
- キンカチョウメスの歌弁別行動における発達期聴覚経験の影響
- クシクラゲPou転写因子群の機能解析で迫る神経の進化的起源
- クマノミの色素形成の可塑性の基盤
- コウイカの擬態の謎に取り組むための新しいアプローチ
- サンゴの非光合成共生生物における光合成系遺伝子の機能的役割
- サンゴ礁魚類群集の共生と競争を制御する色彩パターンの解明
- ダイヤモンド中のスピンを用いた極低温量子マイクロ波増幅装置の開発
- マウスの尻尾を用いたバランス機能の解明
- メタマテリアルピンセットによる量子ドット操作と光子放出制御
- ランドスケープジェネティクス的手法を用いた共生メタコミュニティ維持システムの解明
- 移動性分子による経世代的エピジェネティック伝達の制御機構の解明
- 営巣型別の行動比較に基づくシロアリの社会性進化プロセスの解明
- 海外研究費の獲得における大学職員のスキル育成体制の構築
- 乾燥起因の圧縮下にある粒子安定化液滴の合一に要する臨界分圧の解明
- 気候変動による海産魚類の適応能力を見極めるため、未来の海を模した海洋環境を探索
- 気候変動による熱波が珊瑚礁の魚に及ぼす影響の解明
- 記憶における自発的活動の役割
- 共生宿主細胞を用いたサンゴ-褐虫藻共生系のモデル確立と分子機構の解明
- 極度の神経可塑性から保護された記憶: 人工冬眠からの洞察
- 昆虫の内生生物ゲノム進化のドライバーとしての突然変異率の解明
- 混合カチオン-アニオン金属ハロゲン化物ペロブスカイト材料の分解メカニズムの研究
- 細胞周期依存的なダイニンアダプターのスイッチング機構
- 細胞膜修復因子の網羅的同定と膜損傷部位への新規輸送機構の解明
- 種間比較と構成的手法によるシロアリの構造物形成の進化プロセス解明
- 小胞体-ミトコンドリア連携を起点としたカルシウム流入に対する細胞応答の理解
- 植物化学、草食動物免疫、捕食者行動に対する微生物多様性のカスケード効果
- 身体モジュレーションと神経モジュレーションによる心身機能の改善
- 前障による大脳皮質ダイナミクスの制御とそのセロトニンによる神経修飾
- 組織透明化と三次元イメージングによるコウイカの全脳アトラスの作成
- 相互作用が競合する2次元量子磁石のスピン励起性質の探求
- 多環芳香族炭化水素の超分子化学: 自己組織化構造の解明と制御
- 超解像蛍光イメージングを志向した水溶性ナノグラフェンの合成

	<ul style="list-style-type: none"> - 頂皮質と視床の回路の多感覚葛藤下での計算機能 - 敵か味方か？ゼブラフィッシュを用いた視細胞変性疾患におけるミクログリアの機能解析 - 白化に強いエビエダハマサンゴ群落は頑健か？脆弱か？-生物学と地質学からの検証- - 母体免疫活性化による子供の小脳発達と機能の障害の解析 - 報酬や罰の感受性に基づくADHDのアセスメント法の開発，および実用性の検討 - 縫線体性感覚の神経？星状膠細胞ネットワークの機能発達における幼少期ストレスの影響 - 予防と治療：慢性期てんかん発作を予防するための潜伏期間の活用 - 乱流が及ぼす珊瑚礁魚類の摂食行動とエネルギー収支への影響解析
研究活動スタート支援	<ul style="list-style-type: none"> - Elastic turbulence in micro canopy flows, effects of rheology and geometry - Eleprep: Developing a Modular Electrochemical-Microfluidic Biosensor for Simultaneous Detection of Seven Foodborne Pathogens - How Interaction of Family Friendly Policies and Firm Decisions Affects Fertility - Identifying tipping points and safe operating spaces in sustainable fisheries management under future climate change - PIP2および代謝型グルタミン酸受容体の分布様式に基づくIP3産生過程の計算モデリング - Response diversity: elucidating the long sought-after mechanisms underpinning ecosystem stability - Synergistic catalysis for the sustainable synthesis of semiconducting polymers - Tracing the brain mechanisms of affective touch. - 皮質脊髄路の神経回路機構解明のためのシングル核RNAシーケンシング
国際共同研究加速基金(帰国発展)	<ul style="list-style-type: none"> - 巧緻運動(手先の細かい動き)に関わる脳-脊髄神経回路群の同定とその制御機構の解明
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	<ul style="list-style-type: none"> - 動物のセルロース合成を可能にしたCesAタンパクの構造解析による結晶化機構の解明
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	<ul style="list-style-type: none"> - 非局所構造を有する放物型方程式の新潮流
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	<ul style="list-style-type: none"> - アフリカ三大古代湖におけるシクリッド科魚類の適応放散を駆動した摂餌形態と機能
新学術領域研究(研究領域提案型)	<ul style="list-style-type: none"> - 幼少期の多様な経験に基づく過剰な神経回路形成による加齢後の適応能力の拡大 - 量子液晶の物性科学 - 量子液晶の理論構築
学術変革領域研究(A)	<ul style="list-style-type: none"> - RNAサイレンシングを介した生殖組織・細胞内ダイナミクス - Simultaneous voltage and calcium imaging and mRNA extraction from single neurons in-vivo - シナプス入力を統合するアストロサイト構造基盤のデコーディング - 歌学習発達に伴う聴覚記憶神経回路の高次機能適応センス - 植物の不均一環境変動への応答を支える多層的エピゲノム制御機構 - 推定と制御の双対性に基づく感覚野と運動野の神経回路機構の解明 - 先端バイオイメージング支援プラットフォーム - 低温状態での脳機能動態 - 冬眠生物学2.0 総括班 - 不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構 - 予測と行動の統一理論の開拓と検証・総括班 - 量子フラストレート磁性体におけるエンタングルメントウィットネス
学術変革領域研究(B)	<ul style="list-style-type: none"> - 共生が必要・不要な近縁種から探る共生における物質の役割
日本学術振興会調査研究費	<ul style="list-style-type: none"> - JSPS Invitational Fellowships for Research in Japan(Long-tem) - JSPS Invitational Fellowships for Research in Japan(Short-tem) - JSPS Summer Program
旭硝子財団研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - メーザーを用いた極低温・超低雑音な量子マイクロ波増幅
岩谷直治記念財団研究助成金	<ul style="list-style-type: none"> - 持続可能なエネルギーの代替としての電子伝達用タンパク質ワイヤーの設計 - 稚魚生理学に基づく沿岸域モニタリングシステムの開発
日本しろあり対策協会研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - シロアリが建設するバリエード構造の力学的特性とそれを実現する行動メカニズム解明
稲盛財団研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - 光質の変換操作による植物の形質変化と遺伝子発現解析
中辻創智社研究助成	<ul style="list-style-type: none"> - キセルガイが右巻きに進化する遺伝的背景の探求

18. 関連公益法人等に関する明細

FRIENDS OF OIST, INC.

(1) 設立の目的

- ① 沖縄科学技術大学院大学及び米国、日本及び海外の共同研究者が実施する研究及び教育の活動支援を通じて、世界の課題に取り組む科学技術を促進する。
- ② 米国での沖縄科学技術大学院大学及びその研究プログラムの認知度を高め、国際的に影響を与えることにより、日本発の科学技術による研究と教育のグローバル化を推進する。
- ③ イノベーション、起業家精神、世界のニーズに対応する科学技術の知識の活用を支援する環境を促進することで、沖縄の自立的な経済成長に寄与する。

(2) 法人に対する役員の関係

当学園の元理事の一人であるジェローム・フリードマン氏は、Friends of OIST, INC.の理事を務めております。

(3) 役員氏名

- ① ジェローム・フリードマン 理事
- ② マクリン・幸子 理事

(4) 基本財産の状況

法人の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等及び法人の運営費、事業費等に充てるために沖縄科学技術大学院大学において負担した会費、負担金等はありません。

(5) 法人に対する取引の状況

該当はありません。